公立置賜総合病院

緩和ケアのご案内

当院は地域がん診療連携拠点病院として、がんに対する治療を積極的に行っています。がんの治療中や療養中には身体的、精神的に様々な苦痛が生じます。
また、がんだけでなく、治癒が難しい疾患でも同様に様々な苦痛が生じます。

それらの疾患の治療と並行して、苦痛を緩和するための医療を担うのが「緩和ケアチーム」です。「緩和ケアチーム」は悪性腫瘍、後天性免疫不全症候群、末期心不全の患者さんの疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体症状や不安、抗うつなどの精神症状に対して、患者さんの同意のもと、主治医や病棟スタッフと連携して患者さん、ご家族の苦痛を緩和し治療や療養のサポートを行います。

緩和ケアとは

疾患による心と身体の苦痛をやわらげ、患者さんとご家族にとって自分らしい生活を送れるようにするためのケアのことです。
痛みや吐き気、食欲不振、だるさ、気分の落ち込みや孤独感を軽くすること、自分らしさを保つこと、生活スタイルの確保など、緩和ケアでは患者さんそれぞれの生活が保たれるよう、医学的な側面に限らず幅広い対応をしていきます。
緩和ケアは治療ができなくなった方への医療、終末期に受けるもの、ではなく治療の初期段階から受けることができます。

緩和ケアチームの活動

緩和ケアチームとは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などからなる、緩和ケアを提供するための専門のチームです。痛みへの専門的な対処や、気持ちのつらさを和らげる治療やケアを行います。入院中はチームスタッフが定期的に病室へ訪問させていただきます。

緩和ケアを受けるには

一般病棟に入院している患者さんであれば、その時の治療の有無にかかわらず、緩和ケアチームのサポートを受けることができます。疾患等に対するつらさがある、または話を聞いてみたい方は主治医もしくは担当の看護師にご相談ください。
＊チームによる診療が行われた場合、「緩和ケア診療加算」が料金に加わります。

公立置賜総合病院　緩和ケアチーム